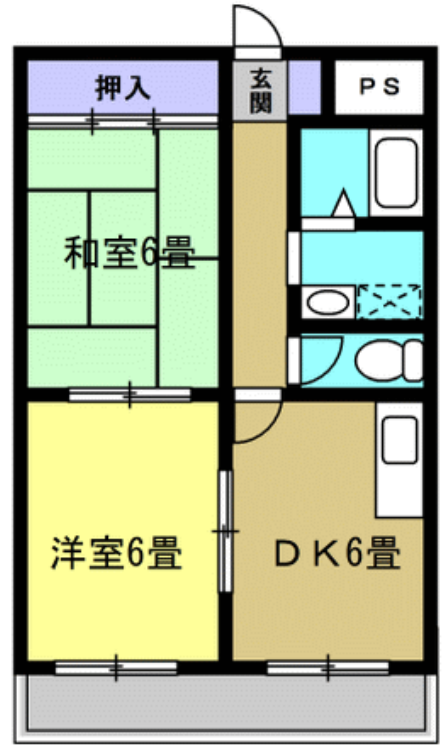


間取図面を作成しましょう

実際に右の間取図（通常仕様）を作成してみましょう。



(注) 実際の内容は物件資料です

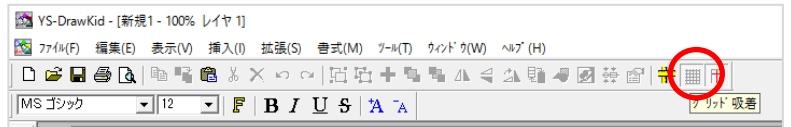
[間取図作成ソフト YS-DrawKid (ysd) を起動させましょう]

- | | | |
|--------|--|--|
| 手順 1 | 各手順のポイント
居室の配置は
<u>グリッド吸着</u> で行う
(細部の調整はルーラーに吸着) | |
| 手順 2 | 建具の配置
<u>ルーラー吸着</u> で行う | |
| 手順 3 | 什器の配置
ルーラー吸着で行う | |
| 手順 4 | 文字の配置
ルーラー吸着で行う | |
| 保存前の処理 | 全ての吸着をはずした状態にし、正方形で間取図を囲む | |

★グリッド吸着 : ysd のグリッド (野線) に吸着してオブジェクトを配置・移動することができる
 ★ルーラー吸着 : ysd のルーラー (定規) に吸着してオブジェクトを配置・移動することができる
 ⇒この2つを使うことで居室や建具のズレが少なくなりますので、必ず行ってください

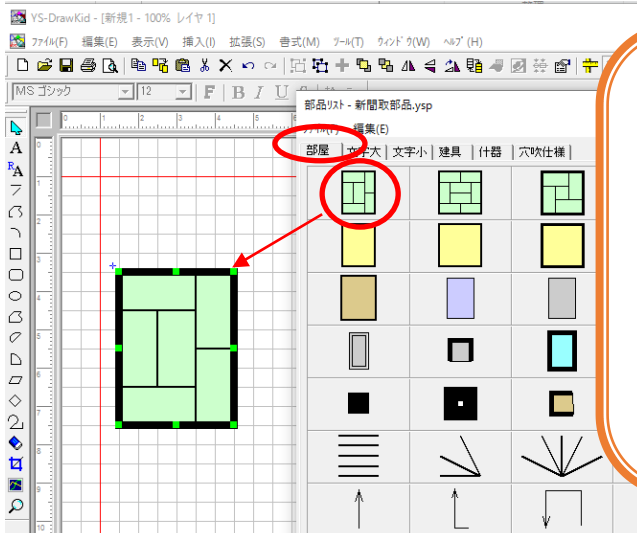
手順 1 居室の配置

① ツールバーの[グリッドに吸着]のボタンをクリックします。



② まず、大きさの基準となる部品から配置します。
 部品リストの [部屋] から [和室6畳] をドラッグして配置します。


完成時の壁や建具ズレを防ぐために
 居室を配置する際は必ずグリッド吸着を使用してください (微調整が必要な時はルーラー吸着)



部品リストは7つのタブに別れています




- 部屋…和室・洋室・収納・水周り・LDK・柱・階段・方位 等
- 文字 (大・小) …よく使う横文字・縦文字
- 建具…窓や出入り口の建具 等
- 什器…流し台・トイレ・洗面台・浴槽 等
- 穴吹仕様…特別な仕様指示があった場合に使用
- フロア描き…収益物件や1フロア描きの際に
あると便利な部品

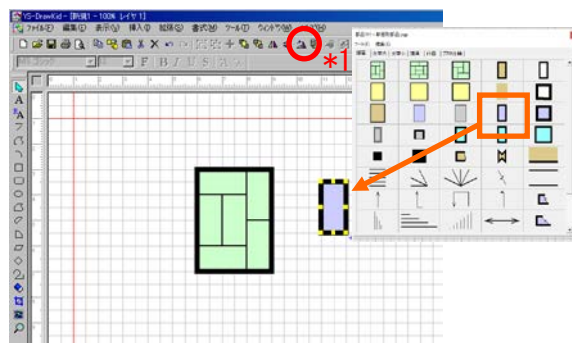
- ③ 次に押入れを配置します。押入れを部品集からドラッグしてきた状態は縦長の長方形です。横長の状態になるように回転させます。

 [右90度回転] (*1)をクリックします。

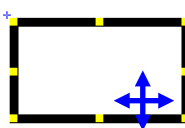
図形の向きを変える

ツールバーにある向きを変えるボタン

-  左右反転…垂直軸に対して反転
-  上下反転…水平軸に対して反転
-  右90度回転…右方向90度に反転



図形を移動させる




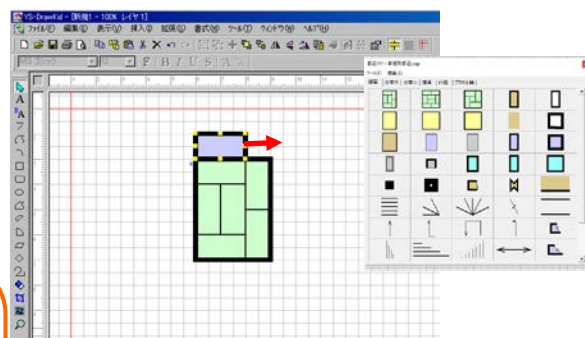
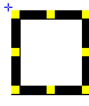
選択した状態で[色のついた四角形]がない図形内をクリックしたままドラッグさせます。

- 部品のままでは幅が小さいので、拡大します。押入れを選択し、右辺にマウスポインタを合わせて右方向にドラッグします。[グリッドに吸着]の状態で作業すると、簡単に和室の大きさに合わせることができます。

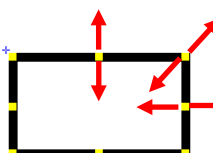
図形の 選択 方法

全ての図形は [選択] された状態で [操作] を実行させます。

-  [選択] ボタンをクリックしてから図形をクリックします。色の付いた8個の四角形で囲まれると選択された状態です。

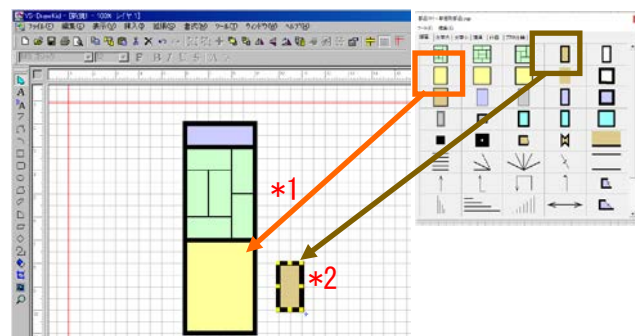


図形の 拡大・縮小



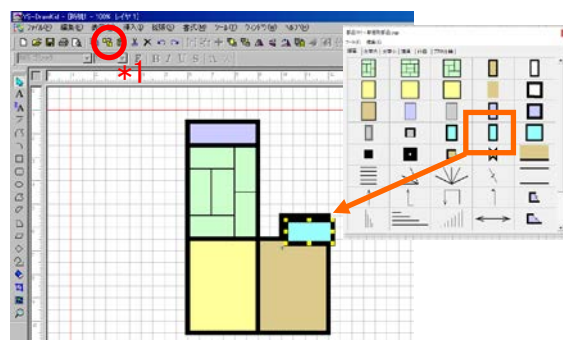
選択した状態で [色のついた四角形] にマウスポインタをあわせてドラッグさせます。

- ④ 続いて、洋室6畳、DKを配置します。まず、洋室の部品を配置し(*1)、次にDKの部品を使用し(*2)、③の押入れと同様の方法で大きさを変更させて配置します。




- ⑤ 水周りの部品を使用して、トイレ、洗面所、浴室のそれぞれのスペースを配置します。

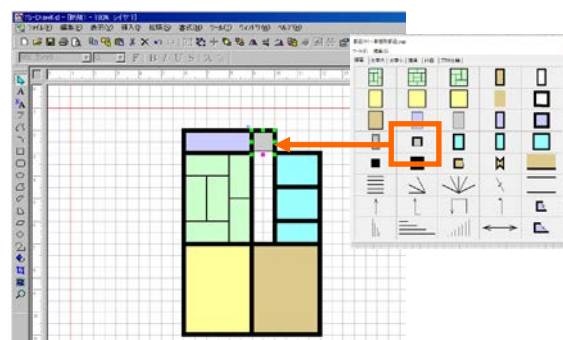
- 1) トイレ… [右90度回転] で向きを変えてDKの上側に配置する。
- 2) 洗面所… 1)のトイレを[複製]で複製し1)の上側に配置します。大きさを上下方向にグリッド1つ分大きくします。
- 3) 浴室 … 2)の洗面所を[複製]で複製し2)の上側に配置します。



図形のコピー方法

複製したい図形を [選択] し、メニューバーの中から  複製] ボタン(*1)をクリックします。

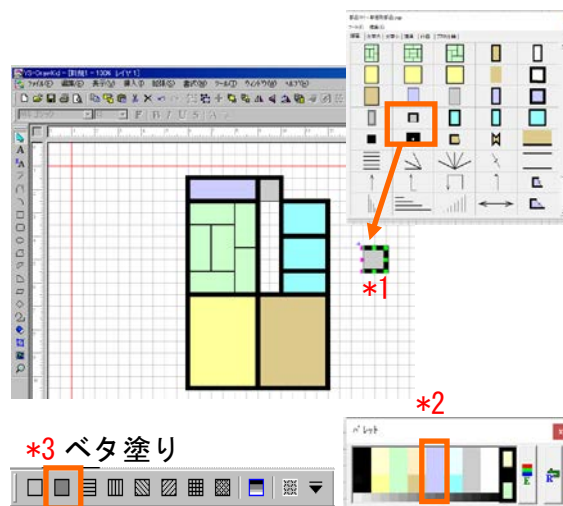
- ⑥ 玄関を配置します。
玄関の部品を 1pt の上がり口の線を下側にして配置します。



- ⑦ 下駄箱を作図します。
部品集から玄関と同じ部品を選択し [右90度回転] で向きを変更させます。
次に色をグレーから収納の薄紫色に変わります。

図形に色をつける


選択した状態(*1)でカラーパレットから薄紫色をクリックします。(*2) ウィンドウの左下にある [ベタ塗り] をクリックする(*3)と色が塗れます。

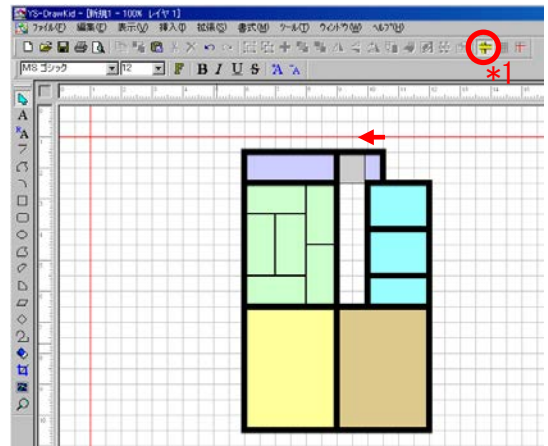


- ⑧ 下駄箱を配置します。
一旦、玄関横に配置し、[ルーラーに吸着]の機能に変更してから位置と大きさを整えます。

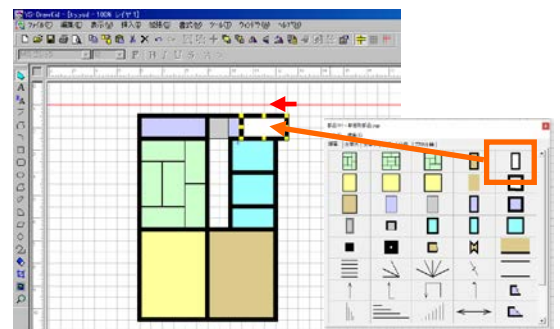
細かな移動・大きさの変更は…

[グリッドに吸着]はグリッド線にあわせて移動・大きさの変更をします。

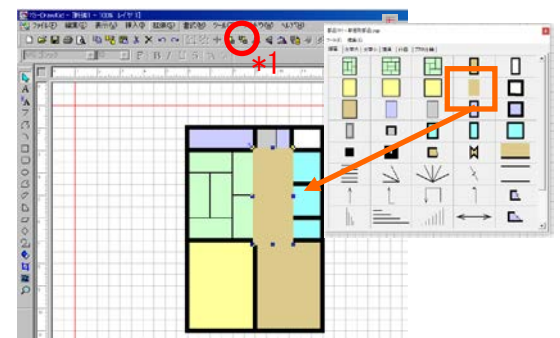
細かな移動・大きさの変更は
[ルーラーに吸着]を活用します。
メニューバーの  [ルーラーに吸着] ボタン(*1)をクリックします。



- ⑨ パイプスペースを配置します。
白い長方形の部品を [右90度回転] で向きを変えてから配置します。大きさを整えます。
(縦の壁の線がズレないように注意して下さい)

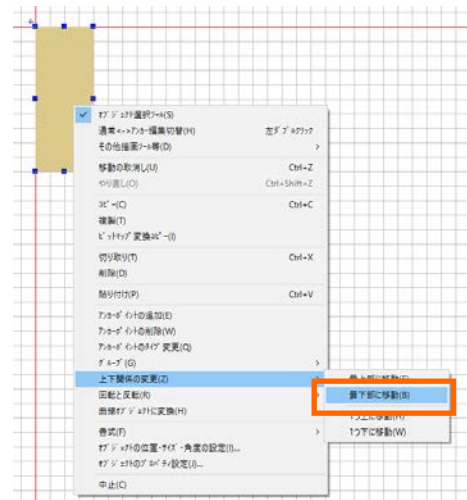


- ⑩ 廊下を配置します。
薄茶色の部品を廊下を覆うように配置します。
薄茶色の部品が、和室や水周り等の居室の下側になるよう上下関係を変更させます。



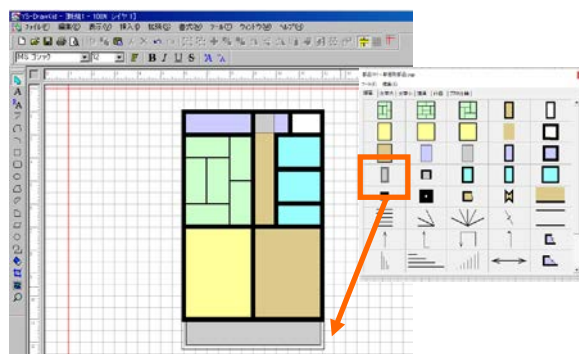
図形の上下関係の変更

変更したい図形を[右クリック]し
[上下関係の変更]⇒[最下部に移動](*1)



- ⑪ 最後にベランダを配置します。
 [ルーラーに吸着] から [グリッドに吸着] に
 機能を変更します。部品集からベランダをドラ
 ッグして洋室とDKの下側に配置したあと大き
 さを整えます。

[最下部に移動] で居室より下側に移動
 すれば居室の配置は終わりです。



手順2 建具の配置

- ① 建具の部品を配置します。

建具を配置する時は  [ルーラーに吸着] を選択します。

(ルーラーの目盛りごとの細かい移動をさせることができます)

完成時建具ズレを防ぐために建具を配置する際は必ずルーラー吸着を使用してください。

[ルーラーに吸着] の機能より、細かな動きをさせたい場合は、
 キーボードのカーソルキーを使用します。


すると更に細かな動きで微調整することができます。

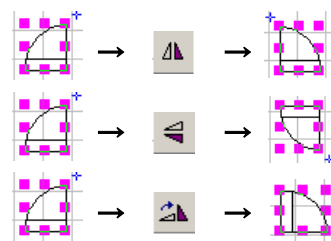



部品集の建具の向きが原稿と異なる場合には、[上下反転]
 [左右反転] [右 90 度回転] 等を使用して、向きを変えて
 配置します。


One Point


ツールバーにある向きを変えるボタン

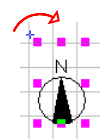
 左右反転・・・垂直軸に対して反転



 上下反転・・・水平軸に対して反転


 右 90 度回転・・・右方向 90 度に反転

 選択した状態で現れる [+] にマウスポインタを合わせ
 ドラッグさせると任意に向きが変わります



手順3 什器の配置

- ① 什器の部品を配置します。

建具の配置同様に  [ルーラーに吸着]の状態で行います。
[ルーラーに吸着]の機能より、細かな動きをさせたい場合は、キーボードのカーソルキーを使用します。
すると更に細かな動きで微調整することができます。



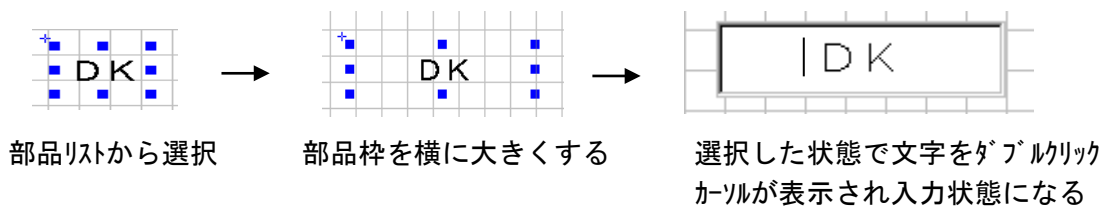
什器の向きが部品集と異なる場合は、[上下反転] [左右反転] [右90度回転]を使用して、向きを変えて配置します。

手順4 文字の配置

- ① 文字の部品を配置します。建具・什器の配置同様に[ルーラーに吸着]の状態で行います。

文字の変更方法

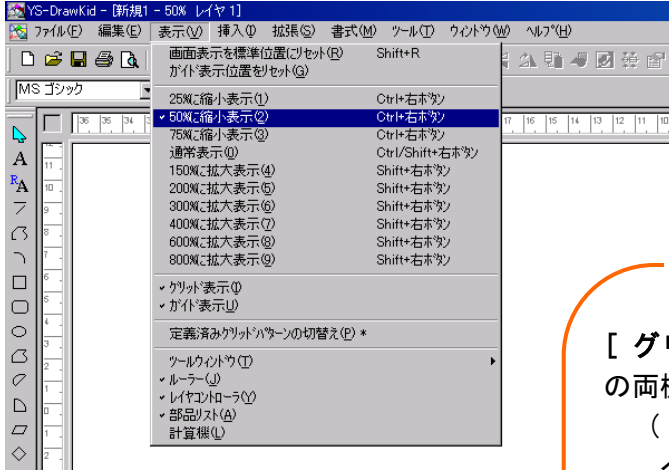
(例)「DK」の部品に文字を追加



- 文字が欠けないように部品枠の大きさに注意しましょう。
- 部屋の大きさを表す数字は必ず半角、「帖」か「畳」は**作図指示の優先順位**に従って入れてください。

保存前の処理 正方形で間取図を囲む

最後に矩形ツールで正方形を作成し、間取図の上に余白のバランスを見ながら配置します。



正方形で間取図を囲む時は表示を縮小にしてから囲むと作業がやりやすい。

メニューバー [表示] → [50%に縮小表示]

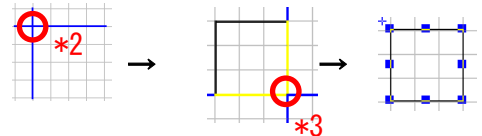
正方形の描き方 One Point

[グリッドに吸着] (*1) [ルーラーに吸着] (*2) の両機能を使わない状態にします。

(クリックされていない状態でボタンがへこんでいない状態)



[矩形] ボタン (*1) をクリックし、[Shift] キーを押しながら始点 (*2) をクリック、次に終点 (*3) をクリックします。



【正方形作成時の余白の取り方】

※ 余白が必要以上に多くならないように正方形を配置してください。

(上下・左右どちらか少ない方の余白がグリッド 1つ分を目安にして間取りを囲む)

また、間取図が正方形の中央になるように配置します。



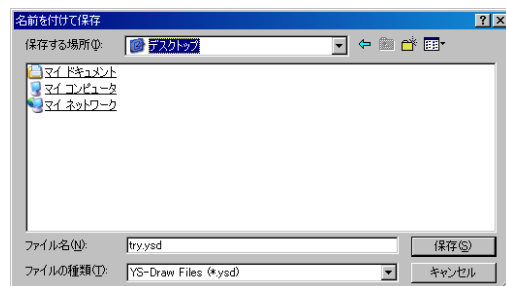
正方形の線の種類を [なし] にします。

[画像を保存しましょう]

間取図が作成できましたので、ysd ファイルの保存及び bmp ファイルへエクスポートします。

●● YS-DrawKid 形式での保存 ●●

- ① ツールバーの[ファイル]-[名前を付けて保存]を選択すると右記のダイアログボックスが表示されます。
- ② [ファイル名]は「 try 」と入力して[保存]ボタンをクリックして保存します。



実際の仕事の場合は、ファイル名は依頼時の物件資料番号が名前となります。

One Point

[名前をつけて保存] で保存するファイルは [.ysd] の拡張子がつきます。納品対象ファイルです

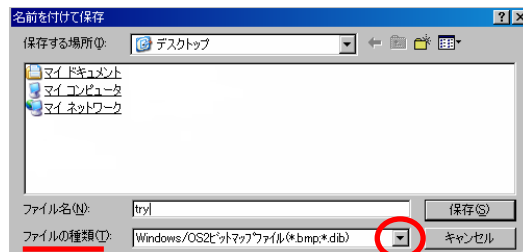
●● BMP 形式での保存 ●●

- ① [編集]-[全て選択]をクリックし、作成した図形を全て選択して下さい。
- ② [ファイル]-[エクスポート]-[選択範囲を指定の形式で保存]を選択して下さい。

右のダイアログボックスが表示されます。
[ファイル名]はYS-DrawKid 形式の保存の時と同じ名前を入力して[保存]をクリックして下さい。

One Point

[エクスポート] する時のファイルの種類は必ずビットマップ形式にして下さい。[.bmp] の拡張子がついたファイルができます。

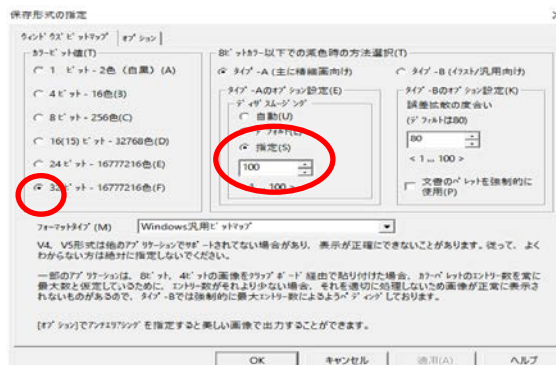


- ③ 保存形式の指定を指定します。

● ウィンドウビット

[32 ビット] にチェックし、[8ビットカラー以下での減色時の方法選択]は、[タイプ - A] の [指定] にクリックします。

続いて、入力窓に「 100 」を入力します。

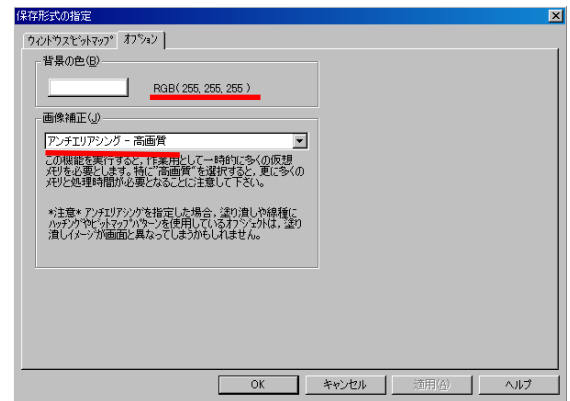


● オプションでの指定

背景の色は「白 (RGB255, 255, 255)」にします。

画像補正は「アンチエイシング - 高画質」を選択します。
右側にある「▼」をクリックして、選択します。

[OK] をクリックします。



拡張子が [. ysd] と [. bmp] の2種類のファイルが保存できれば保存は完了です。

～より良い納品物を作るために～

●● 納品物の確認 ●●

納品をする前に必ず原稿と書き出した b m p を照らし合わせて確認をしましょう！

- ★書き出した b m p と原稿に相違はないか（建具の抜けなどに特に注意）
- ★建具や什器は壁にピッタリ配置されているか、隣り合う居室などとの壁のズレはないか
- ★0.6pt 線を使用していないか（yad 上では 0.6pt と 1pt の違いが分かりにくいです）

※ y s d の特性として、y s d 上では綺麗に配置されていても、b m p に書き出すとズレてしまう場合があります。必ず書き出した b m p での最終確認をお願いします。

●● 納品物（完成） ●●

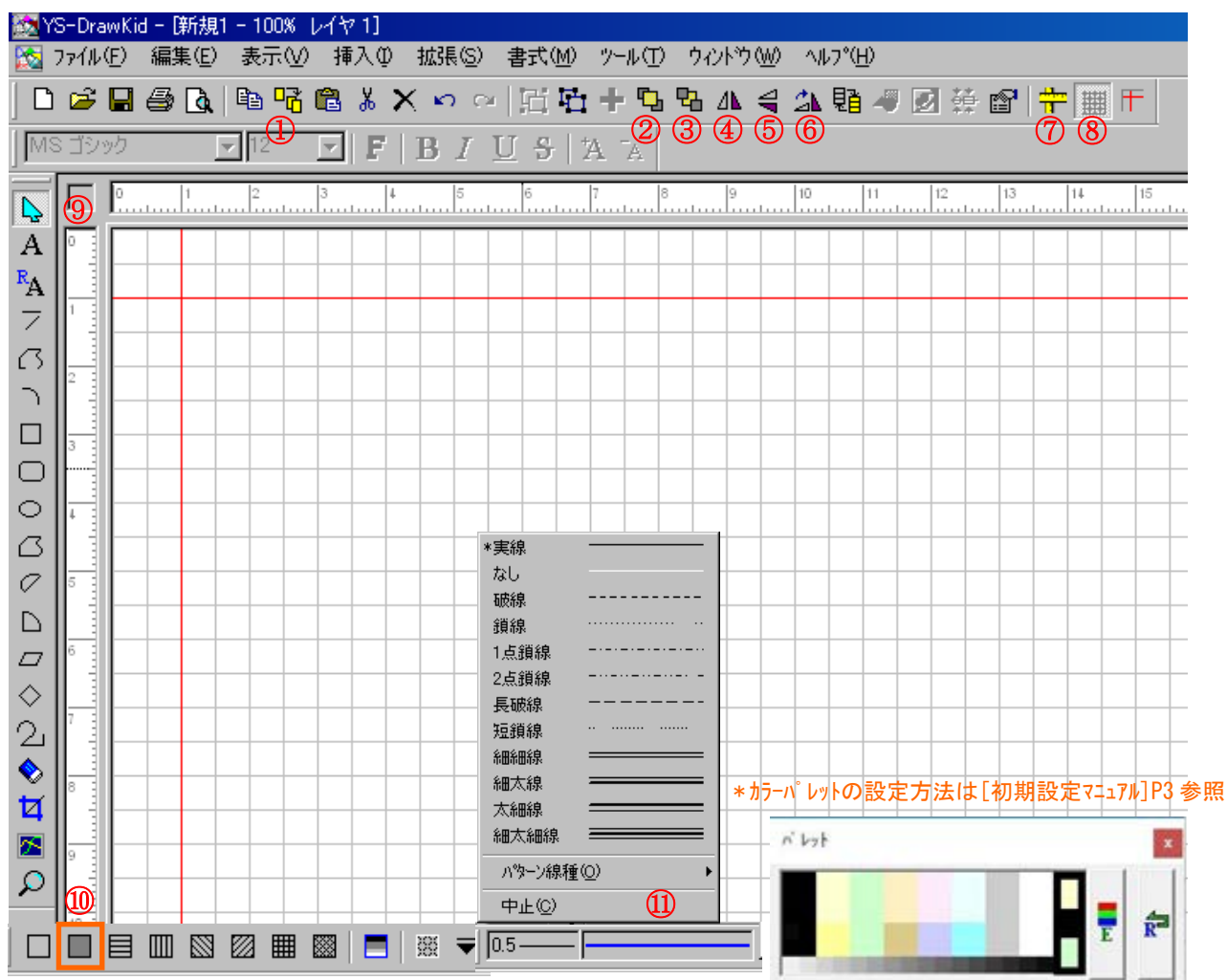
● [YS-DrawKid 形式での保存] で保存された **try. ysd ファイル**。(P.8 参照)

● [BMP 形式での保存] で 保存した **try. bmp ファイル**。(P.8 参照)











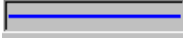
以上の2つのファイルが保存されたら、間取図作成は終了です。

このマニュアルで間取図作成の基本をマスターし、チャレンジしたいと思われましたら是非、OK の告知返信をお送りいただき、試験に挑戦してみてください。

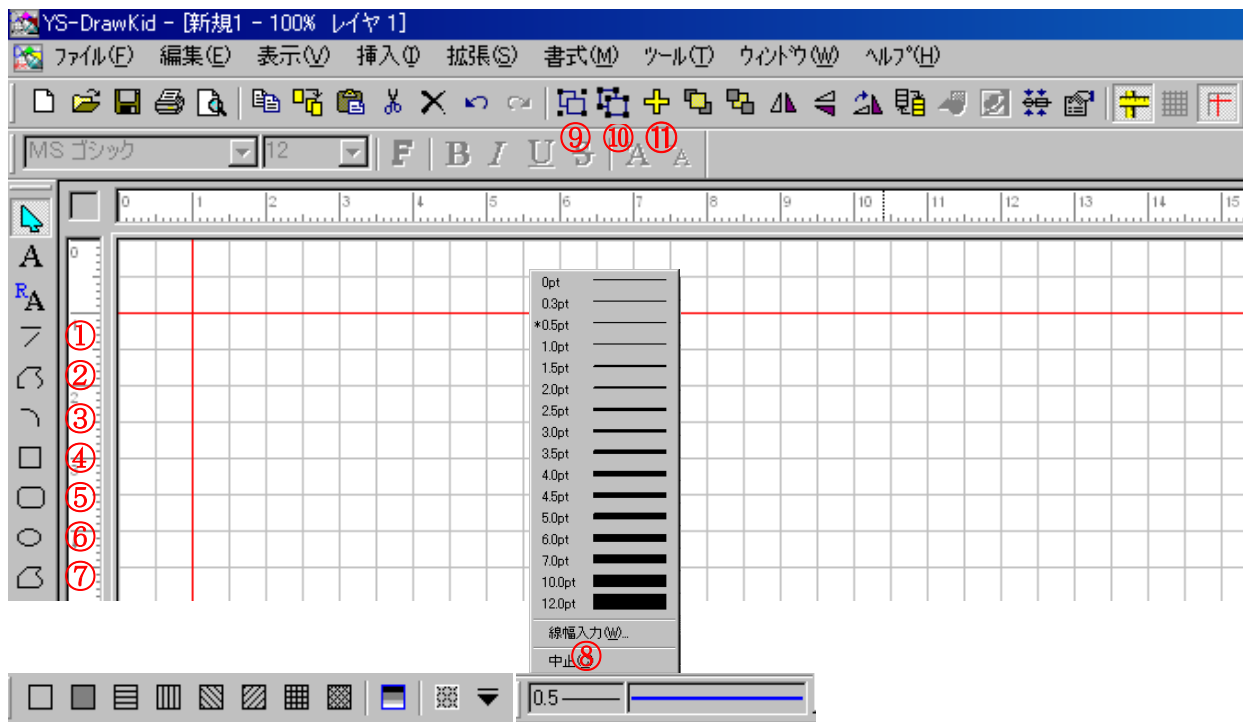
●● 基本操作 まとめ ●●



*カラーパレットの設定方法は[初期設定マニュアル]P3参照

-  ① **複製** 選択した画像を複製する (p.3 参照)
-  ② **最上部移動** 選択した画像の位置を最も上位に順序を変更
-  ③ **最下部移動** 選択した画像の位置をもっとも下位に順序を変更 (p.4 参照)
-  ④ **左右反転** 垂直軸に対して鏡像のイメージになる (p.2・5 参照)
-  ⑤ **上下反転** 水平軸に対して鏡像のイメージになる (p.2・5 参照)
-  ⑥ **右 90 度回転** 時計回りに 90 度回転する (p.2・5 参照)
-  ⑦ **ルーラー吸着** ルーラーの最小目盛りの位置に操作している点を配置する (p.4 参照)
-  ⑧ **グリッド吸着** グリッドの間隔毎に操作している点を配置する (p.1 参照)
-  ⑨ **選択** 画像の選択・編集操作 (p.2 参照)
-  ⑩ **ベタ塗り** 画像の枠の中を塗りつぶす (p.3 参照)
-  ⑪ **線種変更** ボタンをクリックして線種を設定・変更する (p.7 参照)

●● 応用操作 ●●



- 基本的には用意されている部品を中心に作成しますが、部品で補えない作図が必要な場合は画面左側にある [描画ツール] 等を使って作図をします。
また、作図した図形を1つにまとめたり、分解したりする方法もあります。



① 直線

始点・終点の2点をクリックして直線を作成

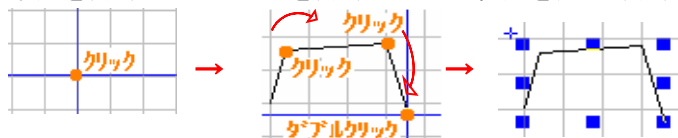


シフトキーを押しながら作成するとまっすぐな直線が描けます。



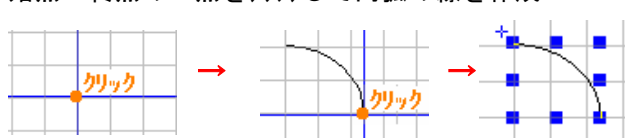
② 折線・フリーハンド

2本以上の線分から構成される軌跡の描画。
始点をクリックしアンカーポイントをクリックしていき終点をダブルクリックする。



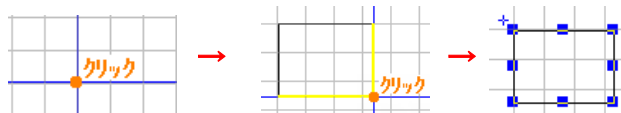
③ 円弧

始点・終点の2点をクリックして円弧の線を作成

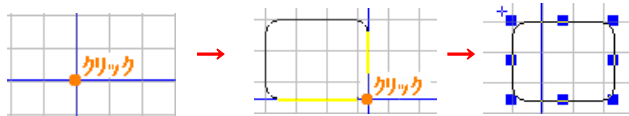



④ 矩形

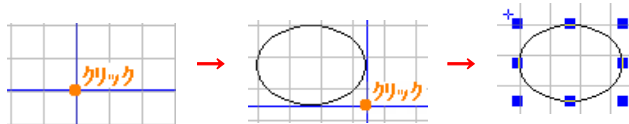
始点・終点の2点をクリックして長方形・正方形を作成




 ⑤ 丸角矩形 始点・終点の2点をクリックして角の丸い長方形・正方形を作成




 ⑥ 楕円 始点・終点の2点をクリックして楕円を作成




 ⑦ 多角・フリーハンド閉多角形 ②と同様に多角形が作成できる。終点の1つ前の点をダブルクリックすると端点と始点との間に自動的に線が描かれ閉鎖する。




 ⑧ 線幅変更 ボタンをクリックして線の太さを設定・変更する

図形を選択した状態でボタンをクリックする。表示されたメニューの中から設定したい線の太さをクリックする。

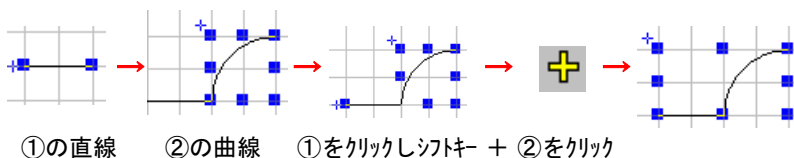
 ⑨ グループ化 複数の図形を1つの図形にまとめる。まとめた図形を全て選択し(シフトキー押しながらクリック)、グループ化をクリック。




 ⑩ グループ解除 グループ化された図形を個々の図形に分解する。



 ⑪ 図形の結合 複数の線を結合して1つの図形に変換する



⑫ 固定比率での図形の拡大・縮小

すべての吸着を外し、図形の角にカーソルを合わせ、 マークが出たところでスペースキーを押しながらドラッグをすると固定比率で拡大・縮小ができます。

